

学童クラブ運営事業

保護者や学校、近隣の地域、外部団体とのつながりの強化、組織基盤作りを事業計画として掲げました。各施設ともに、4年生合宿をキャンプ形式で実施したり、父母会との共催行事を保護者と一緒に進めることができました。また地域との連携においては、子ども家庭支援センターや小学校、保育園、近隣の民間学童などと繋がりを持ち、連携を図りました。組織基盤作りに関しては、施設長会議、指導員会、研修を通して登下所管理や間食提供など基本業務の見直しをおこないました。



児童センター運営事業

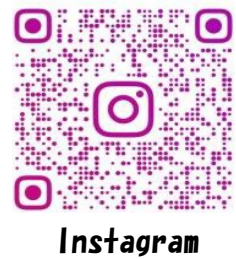
2022年度児童センター運営事業は、2021年度から引き続き①地域団体・人材との関係強化、②地域の中で切れ目ない居場所作り、③全ての年代の利用者にとって過ごしやすい環境整備、④業務の平準化の4つの取り組みをおこない、主な事業として「地域子育て支援拠点事業（子育て広場事業）」「小学生を対象とした事業」「中学・高校生年代を対象とした事業」を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、昨年度・一昨年度に比べ少なくなり、利用者数も増加傾向に転じました。児童センター内のイベントはもちろん地域のイベントも少しずつ再開されるようになり、地域全体に活気が戻ってきている事を実感できる1年でした。



子どもアミーゴ西東京「私たちが目指すもの」

1. 子どもにとって安心安全な社会をつくる。
2. 子どもを含むさまざまな世代の参画をすすめ、子どもを中心においた支えあいの地域をつくる。
3. 子育ての責任を安易に家庭に押し付けず、課題を抱えた家庭が地域とつながる家庭支援を行う。
4. 地域の構成員として子どもを明確に位置づけ、社会的自立に向けた成長を支援する。
5. 子どもを社会で育てるための条件整備者としての行政の責務を明確にし、積極的に協働型の地域づくりに関わる。



NPO法人子どもアミーゴ西東京

年次報告

2022年度

2022年4月1日～2023年3月31日

すべての
子どもたちが
笑顔で
すごせる街を



2022年度

代表理事より

2022年度

2022年度も、皆様のご理解と、ご支援、ご協力により過ごせましたこと心より感謝申し上げます。

さて、22年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の「ソーシャルディスタンス」、「行動制限」が、ワクチン接種の拡大により 緩和されることによる 活動再開気運により始まりました。

コロナ感染症が蔓延した一昨年来、「対外的活動抑制期間だからこそ当法人として行えること」を念頭に置き、この機を法人として考察する機会と捉え、今までも、ビジョンの礎は、創立理念として掲げておりましたが、より具体的にまた、視覚的にも分かりやすく、創立15年を振り返りながら、今からの10年について、「アミーゴビジョン」を6月総会にて発表させていただきました。

今年度は、「アミーゴビジョン」に目指す3か年計画の「アクションプラン」の策定をすすめ、1月に創立15周年行事「つながろう はじめの一步」と題してトークイベントを開催し、アクションプランの発表と共に、アミーゴについてたくさんの貴重なご意見を頂きました。

法人の主催行事としては、5月GWには規制緩和を聞かれましたが、社会認識として規制解除が実感とできていないことから8月の「アミーゴ自然塾」宿泊キャンプの再開には至りませんでした。

秋には規制緩和基調に鑑みて、学童施設の「高学年(4年生)合宿」を1泊2日の形態に戻し全6施設で順次再開され、子どもたちや保護者にとっても貴重な体験となり、喜びの声をたくさんいただきました。

2022年12月には8月に出来なかった「アミーゴ自然塾」を、昨年度に引き続き、小金井公園でディイベントとして開催し、各学童施設を卒所後も、再開の場としてたくさんの子どもたちの笑顔を花咲きました。

「だがしや楽校」においては、12月予定を雨天順延にて翌年1月に3年ぶりに開催いたしました。

初の雨天順延にて、当初中止も視野にいられておりました、出店者からの熱望を頂き、初めての冬の時期との懸念もありましたが、子どもたちはもとよりたくさんの保護者の皆様から「楽しかった」の項を頂きました。「自然塾」、「だがしや楽校」とともにたくさんの方々のご参加を頂きありがとうございます。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症による社会活動復調が進み、2023年へ向けてより期待をもの膨らむ一年でした。



代表理事
松本 毅

子どもを中心とした支え合いの地域づくり、まちづくり事業

【自然塾】

学童クラブで培われた関係性が地域に戻ってからも継続し、さらに学童クラブが地域とつながっていくことを目的に主催しているアミーゴ自然塾ですが、2018年度の実施を最後に中断していました。2022年度はキャンプ形態での実施はできませんでしたが、1月15日に小金井公園で「集まれ！自然塾仲間」を開催しました。30名近くの子どもたちが集まり、学童クラブに通っていた頃と同じように学年を超えてエスケンやドッジボールを、焚火を囲んでの焼きマシュマロなど楽しい時間を過ごしました。



【だがしや楽校】

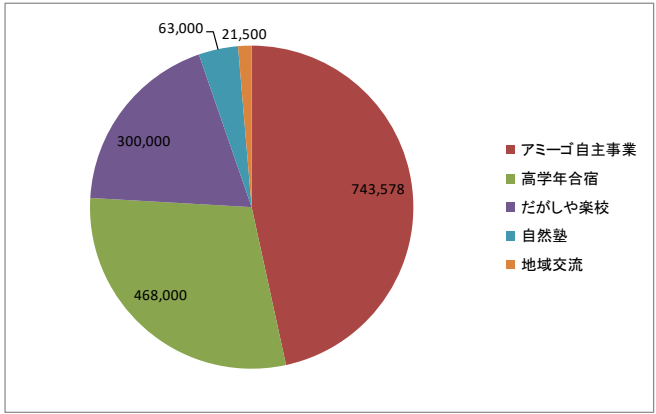
地域との関わりを強化し団体を広く知ってもらう場として、また学童クラブや児童センターに通う子どもたちや保護者が活躍できる場=「自分見せの場」として、地域連携イベントであるだがしや楽校を主催してきました。2022年度は1月22日に向台公園で開催し、約600名の方々の来場がありました。各施設の手作り作品のお店や、遊びブースなどで楽しむ姿が見られました。ダンスやチアダンスなどの得意技を披露するステージプログラムや、恒例のベーゴマ大会も行われ盛況のうちに終わることができました。



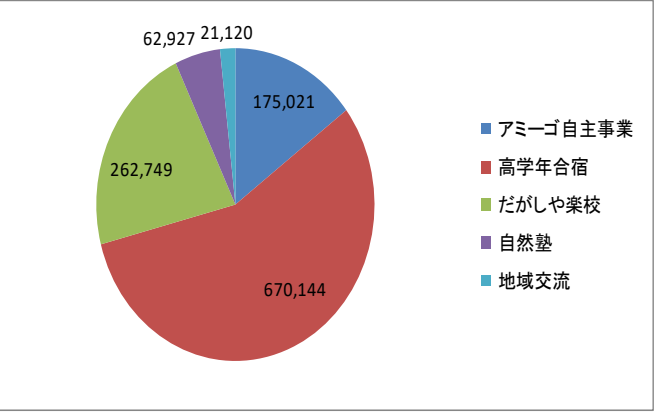
2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の財務・会計報告

活動計算書（2022年4月1日～2023年3月31日）		（単位：円）
科目		金額
1	受取会費	222,000
2	受取寄附金	324,000
3	受取助成金等	258,500
4	事業収益 放課後健全育成事業収入	253,291,128
	子ども支え合い事業収入	1,091,610
	管理部門事業収入	28,030
5	その他収益	2,052
経常収益計		255,217,320
1	事業費 人件費	208,605,937
	その他経費	32,253,900
	事業費計	240,859,837
2	管理費 人件費	360,000
	その他経費	2,365,454
	管理費計	2,725,454
経常費用計		243,585,291
税引前当期正味財産増減額		11,632,029
法人税、住民税及び事業税		2,923,400
当期正味財産増減額		11,632,029
前期繰越正味財産額		58,273,161
次期繰越正味財産額		66,981,790

子育て支援事業収益内訳



子育て支援事業費用内訳



ご支援・ご協力いただいた団体の皆さま

アミーゴと共に子どもたちの未来を応援いただき、心から感謝しています。

- 西東京市学童クラブ連絡協議会
- 三多摩学童保育連絡協議会
- 全国学童保育連絡協議会
- 西東京市市民協働推進センター
ゆめこらぼ
- 調布市青少年ステーション
CAPS
- 杉並区児童青少年センター
ゆう杉並
- 首都圏中高生ネットワーク
- NPO法人ワーカーズ・コレク
ティブちろりん村
- 日本おもちゃ病院協会
- 東京都助産師会
- エコベル研究会
- もぐらの会
- 中原小父親の会
- 矢ヶ崎農園
- 育成会
メタセコイア
- ハートライン♡にしとうきょう
- ひばりが丘団地・パークヒルズ
自治会